

消防技術を競う操法大会 名和分団が活躍！



▲西部地区大会で2位となった名和分団

第53回鳥取県西部地区消防ポンプ操法大会が7月3日、米子市の鳥取県消防学校で行われ、大山町消防団からは名和分団と大山第2分団が出場しました。

消防ポンプ操法は、消火活動の基本となる操作を迅速かつ正確に行ない、タイムや規律、節度ある動作などを競うことで、消防団員の技術の向上や士気の高揚を図るものです。

この大会に照準を合わせ、早くから訓練を積んできた選手たちは、その成果を十分に発揮し、きびきびとした立派な操法を披露しました。

西部地区消防ポンプ操法大会で2位となった名和分団は、西部地区の代表として7月19日、鳥取市で開催された第57回鳥取県消防ポンプ操法大会に出場し、見事5位に入賞されました。

平和への誓いと鎮魂の祈りを込めて

～大山口列車空襲から66年～



▲平和へのメッセージを読み上げる大山西小児童

県内最大の戦災に見舞われた昭和20年の大山口列車空襲の犠牲者を追悼する慰霊祭（大山口列車空襲被災者の会（伊藤清会長）が、7月28日にJR大山口駅前で開催されました。遺族や大山西小・名和小・中山小の児童、関係者など約80人が参列。菊の花を供えて、亡くなった犠牲者に祈りを捧げました。

参列した小学生らは「戦争は許されないこと。戦争の恐ろしさ、平和の大切さをみんなに伝えていきたい」と慰霊碑をしっかりと見つめ、平和を誓いました。



▲中山小学校の児童は色紙を奉納

仁王堂公園 の 遊具が新設 されました！

腐食など老朽化が目立つようになっていた仁王堂公園の木造遊具を撤去し、このたび新しい遊具を設置しました。

8月1日（月）、遊具新設の完成記念式典が仁王堂公園

で行われました。記念セレモニーでは、大山西小学校5年生が創作ダンス「大山カラス天狗伝説」を元気いっぱい披露しました。

式典終了後は、参加した子どもたちが夏の暑さをもとめせず、新しい遊具で思い思いに遊び、歓声をあげました。

新設した遊具は「大山カラス天狗」をシンボルにした回廊型木製風アスレチック遊具です。ぜひ、ご家族でご利用ください。



▶テープカットの様子